

平成29年度学校経営計画

「教育」とは、人間に他から意図をもって働きかけ、望ましい姿に変化させ、価値を実現する活動です。また、子どもたち一人一人が個性をもち、保護者の思いや願いを託された大切な一人です。つまり、教師がどんなに一生懸命働きかけても、教えても、活動させても、児童が望ましい姿に変化しなければ「教育」したとはいえません。親の願いや思いを叶えたとはいえません。

私たち教職員の使命は、子どもたち一人一人が、望ましい姿に花開くことのできるよう、教え、導き、支え、助けることによって、保護者の信頼に応えることであります。

そこで、熊谷市立秦小学校の教職員は、一丸となってすべての「心・技・体」を結集し、「知・徳・体」のバランスのとれた児童の育成に全力で取り組みます。

1 教育目標

- 思いやりのある子
- 元気な子
- 進んで学ぶ子

2 経営理念

- ◎ 子どもの力「知・徳・体」を全力で伸ばす学校
- ◎ 愛情をもち、徹底して子どもとかわる学校
- ◎ 保護者、地域に愛され信頼される学校
- ◎ 荻野吟子女史の不屈の精神を受継ぐ学校

3 経営方針 『子どもたちに 徳力 体力 学力をつけたと 胸を張れる実践』

- (1) 全職員が一丸となって、学校教育目標の達成に努める。
- (2) 「わかる・できる」授業の実践に努める。
- (3) 家庭・地域と連携し、地域に根ざした教育を推進する。
- (4) 教育環境の整備・充実・改善を図り、安心・安全で潤いのある学校づくりに努める。

4 めざす児童像・学校像・教師像 平成29年度の合言葉 『キラリ秦っ子』

● 児童像 (人をいたわり、素直な態度と我慢のできる児童) 不屈の精神

☆ 思いやりのある子 <だれとでも仲よくし、礼儀正しい子>

- ・ だれとでも仲よくする子 (協力) 「友だちをたくさんつくる」
- ・ きまりや約束をまもる子 (責任)
- ・ 感謝の心をもって行動する子 (感謝) 「ありがとう・ごめんなさい」と言う

☆ 元気な子 <最後まで全力で取り組む子>

- ・ 明るくあいさつや返事のできる子 (素直) 「挨拶したら「ハイ」と元気よく返事をする
- ・ 正しいことが堂々としてできる子 (正義) 「正義の味方」
- ・ めあてをもって最後までがんばる子 (全力)

☆ 進んで学ぶ子 <課題を見つけ進んで学ぶ子>

- ・ 課題を見つけ自ら学ぶ子 (自主)
- ・ 人の話を静かに聴く子 (静聴)
- ・ 集中して学習に取り組む子 (集中) 朝ご飯をしっかり食べる

- 学校像
 - ◎ 一人一人が輝き 学ぶ意欲にあふれた学校
 - ・ 秩序ある学校 (けじめをつけて行動できる学校)
 - ・ 楽しい学校 (知・徳・体をバランスよく育み伸びのわかる学校)
 - ・ 美しい学校 (安心・安全で潤いのある学校)
- 教師像
 - ◎ 愛情と情熱にあふれ、努力し続ける教師 (厳しいけど 優しい先生)
 - ・ 授業で子どもを成長させる教師
 - ・ 子ども一人一人を大切にし、とことんかかわる教師
 - ・ 教師として、人間として自分を磨く教師

5 教職員の行動指針 『スピード・スマイル・チャレンジ』

『学校は、児童の顔つきを見れば素晴らしい学校かどうか分かるものである』

- (1) スピード
 - ・ 子どもの変化に敏感で、「迅速」に対応できる教職員
 - ・ 報告―連絡―相談を徹底し、全員で行動できる教職員
- (2) スマイル
 - ・ 常に笑顔で、聞き上手「誠実」に対応できる教職員
 - ・ 「よいことはよい だめなことはだめ」と毅然とした態度がとれる教職員
- (3) チャレンジ
 - ・ 常を疑い、前向きに「改善」に取り組む教職員
 - ・ 労を惜しまず、汗を流して行動できる教職員

6 本年度の重点・努力点 3つの「あ」(安全・あいさつ・あとしまつ)の徹底

☆ 返事 清掃 発表力 継続重点 (朝マラソン・自主学习・靴そろえ)

- (1) 学習指導の充実
 - ・ 学習規律を確立し、集中して学習に取り組む環境をつくる。
 - ・ 自主学习を推進し、基礎・基本の定着を図る。
 - ・ 授業の課題を明確にし、学び合いのできる(アウトプット)授業を実践する。
- (2) 人権教育の充実
 - ・ 縦割り活動を通して、心づかいのできる児童の育成
 - ・ ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進
- (3) 道徳教育の充実
 - ・ 命の大切さを考え、いじめを許さない児童の育成 『いじめ撲滅宣言』の実践
 - ・ 心を揺さぶる道徳授業の実践 体験活動の充実
 - ・ 善悪を判断し、けじめのある児童の育成 態度の見える化「素直・我慢」
- (4) 家庭・地域との連携強化「熊谷の子どもたちはこれができる」
 - ・ 4つの実践の徹底 呼ばれたら「ハイ」と元気よく返事をする
 - ・ 3減運動の推進 読書量を増やし言語活動の充実を図る

7 研究課題 平成29年度小中一貫教育推進モデル事業

「確かな学力を身に付け、心豊かに生きる児童生徒の育成」